

日本共産党

くろはま ニュース

NO.6

3月議会

水道基本料金半額の延長が決まる

日本共産党市議団、ねばり強く要求

コロナ禍で昨年6月から実施されてきた基本料金半額は新年度予算には計上されていませんでした。



3月議会で討論する船橋ゆき子議員（蓮田市議会インターネット中継より）

船橋ゆき子議員は3月定例会の建設経済委員会で、昨年度の水道会計財務諸表などの資料から、蓮田市の水道事業は、基本料金半額を継続できる体力が十分ある事を指摘し、減額延長を求めて新年度予算に反対しました。その後の臨時議会で、「基本料金半額を5月末まで延長」の議案が提出され、総員

黒浜北小のトイレ改修工事

新年度の予算計上が実現

昨年、老朽化したトイレの調査のため、新日本婦人の会と榎本なお議員が市内小中学校を訪問。12月議会の一一般質問で早急な改修を求めました。

3月議会に出された新年度予算には、臭いのひどかった黒浜北小学校のトイレ改修工事の予算が計上されました。

子どもの人権を保障するためにも、引き続き学校施設・設備の早期改修を求めて行きます。



トイレの破損や臭いがひどかった。
【2020年11月 黒浜北小にて撮影】

賛成で可決されました。水道料金については、市民から料金値引の要望が高く、昨年に引き続き、皆さんの声を市政に届けることができました。

皆さんと力合わせて実現しました

子どもが遊ぶので危険！

殖産（緑町）の遊水池に雨水が溜まり、3月下旬には、深い所は65cmほどになっていました。

地元のかたから「子どもが遊ぶので大変危険」「溜水が

自治会館下の遊水池。上の方まで雨水がたまっていました。



雨水を抜いた後の遊水池に降り、計測する船橋ゆき子議員。

臭う」などの声を聴き、船橋・栗原いさむ議員が現地写真を撮り、市の道路課に早急に改善するように求めました。

応急処置で排水される

自治会からも声が届いていました。市も写真を見て「水深65cmとは危険」と、翌週予定していた配管の確認後、応急処置として仮設ポンプで排水しました。

配管に錆が詰まったのが原因と判明。今後、市としては、錆の除去などの対応をすることになっています。